

# 委託事業実施内容報告書

## 平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【日本語教室の設置運営】

受託団体名 多文化共生センター東京

#### 1 事業の趣旨・目的

国際結婚等で来日する外国人親は日本語をきちんと学習する機会がほとんどなく、生活から日本語を覚えていく。しかし、読み書きが出来ない親が多く、子どもの学校のプリントが読めない、仕事が見つからないなど様々な困難に遭遇する。地域とのつながりも少なく、頼れる人もいない中、「居場所」がない生活をしている人も少なくない。

外国から来た子どもは、生活言語は比較的早く出来るようになるが、学習言語の習得には時間がかかる。その間にもほとんど学習が進み、学習の遅れが出るようになる。また、日本生まれや低学年で来日した子どもは日本で生活していく中で母語が十分話せないことも多く、親子の間に言葉の壁ができ、思春期に差し掛かると言葉の壁からこころの壁も高くなりがちである。

本講座では、乳幼児から小学生の子どもを抱えた外国出身の親子を中心に、子育てや生活に必要な日本語を地域住民(ボランティア)と共に学ぶ。同時に、子育てや子どもの教育、生活の悩みについて話し合う場をつくることで「居場所づくり」と「多文化子育て」を応援する。子どもについては、日本語や学校で遅れがちな教科をフォローするとともに、同じ境遇の子ども同士の出会いにより、安心して自分を出せる「居場所づくり」を目指す。

#### 2 運営委員会の開催について

##### 【概要】

日時	場所	出席者	議題	会議の概要
7月3日	当センター教室	王慧槿 柴山智帆 渡部ゆかり 加藤知子 浅野芳明 李原翔 原島メイ  (オブザーバー) 青木智弘、村田厚子	活動報告 課題 意見交換	大人クラスはチラシ配布の効果もあり、中国、タイ、フィリピンの学習者が増加。子育てに関する悩みを相談したり、仕事につなげたいというニーズが多い。また、在日一世の高齢女性も増え、漢字や日々の生活をつづる4行作文に取り組んでいる。子どもクラスは、遅れがちな算数や国語(漢字や読解)にマンツーマンで取り組んでいる。  大人クラスでは子育ての様々な悩みなど様々な課題が出た。フィリピン出身の委員や中国出身委員から、自身の子育て経験を踏まえた意見や、他地域の取り組みを紹介。地域ボランティアが少なく地域にかかわりづらいという意見には、荒川ボランティアセンターの委員から地域の現状を話して頂くとともに、地域ボランティア募集に協力頂くことになった。  子どもクラスでは、小学生への教え方についての課題や、ボランティアが小学校のカリキュラムを完全に理解していないという課題が上がった。フィリピンと中国出身の委員から、学習過程が国と違うことで算数など抜け落ちていたり、小さいころからの読み聞かせや読書での蓄積がないので日本語を教えるだけの問題ではないという意見を頂いた。子どもクラスでは教え方やカリキュラムについて勉強会を開くとともに、荒川ボランティアセンター経由で来る教員のサマーボランティアに協力頂くことになった。

12月11日	当センター教室	<p>王慧権 柴山智帆 風間晃 渡部ゆかり 加藤知子 浅野芳明</p> <p>(オブザーバー) 福田和久、田中阿貴、中野真紀子、青木智弘</p>	<p>活動報告 課題 意見交換</p>	<p>大人クラス、子どもクラスそれぞれの活動を報告。大人クラスは、継続している学習者にとっては、週1回の学習が定着して居場所となり、就職が決まったり、開業をした人も出てきた。子どもクラスでも、学習者が定着し、ボランティアとの関係も出てきたので、勉強、休憩(遊び)、勉強とペースを作って勉強と遊びの切り替えが出来るようになった。</p> <p>課題については、仕事で来れなくなった分学習者が減少した。来れなくなった参加者に手紙を送ったら復帰した学習者もいるが、新たな学習者を募集する必要がある。荒川ボランティアセンターが荒川区の小学生に配布する広報誌「子どもあらんていあ」に掲載してもらい、荒川区の全小学校の生徒や地域のお店などに配布することになった。また、仕事につなげたい学習者にとって、実際に働かないと日本語が身につかないので就労支援も必要ではという意見もあり、日本語と同時に仕事につなげることについて様々な意見交換を行った。</p> <p>子どもクラスについては親の開業に伴い、一日の大半を一人で過ごす子どもについての課題があがり、元学習者でもある保護者とコミュニケーションをとることや、児童館へつなげることとなった。また、子どもの母語保持、言語発達、就学前の子を持つ親に対する多言語での情報提供や、先輩親とのつながりが必要という意見など、日本語に限らず、幅広い意見交換を行った。</p>
3月5日	当センター教室	<p>柴山智帆 渡部ゆかり 風間晃 加藤知子 李原翔 渡部ナタニ</p> <p>(オブザーバー) 福田和久、青木智弘、田中阿貴</p>	<p>活動報告 課題 意見交換</p>	<p>本実施内容報告書をベースに、大人クラス、子どもクラスそれぞれの活動を報告。仕事につながった学習者や、最初は全く話せなかったけれど意思疎通できるようになった子どもの事例など、個々の学習者の達成状況を共有した。</p> <p>課題については、学習者・ボランティアを増やすことがあげられ、来年度も続ける際に学習者やボランティアを積極的に集めることとなった。具体的には、学習者へは近隣地域で保育園やスーパー等へのチラシ掲示・配布、来られなくなった過去の学習者へのお便り、保健所での検診時にチラシ配布、区教育委員会と連携し初期指導中・終了後児童へのチラシ配布、区役所等でのチラシ設置など、4月以降積極的に行うことになった。ボランティア募集については、荒川区ボランティアセンターや、地域のスーパー等含めて積極的に配布することとなった。学習者が継続しないという課題に対しては、現状の仕事が忙しくて来れなくなるケースが多く、休んでも来れるときに来て、柔軟に受け入れられるようにマッチングを工夫することとなった。また、小学校低学年で来日した子どもの日本語だけではなく、教科が必要であるが、文章問題の理解が日本語も相まって難しいなど課題が上がリ、算数の教え方について勉強会を開催することとなった。外国出身委員より、中国やタイの子どもや親の状況、日本語や教科の状況などを紹介頂いた。</p> <p>2年間で、多くの成果がでて、継続して活動していくことで親子日本語クラスが「居場所」となっていることから、来年度も継続して活動を行うことが確認された。</p>

【写真】



### 3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 親子日本語クラス
- ② 開催場所 多文化共生センター東京の教室(旧真土小学校 3 階)
- ③ 学習目標

大人クラス:生活に必要な会話や漢字の読み書きなどを地域住民(ボランティア)とともに学ぶ  
学習開始前にカウンセリングを行い、文法、読み書き、漢字など何を学習するか、教科書中心か自由会話中心かなどの学習スタイルについて、学習者と話し合い、個々に学習目標を設定。

<一部の例>

在日1世女性・・・会話は問題はないが、読み書きはできないので、読み、書き、漢字を学習する。

韓国人女性・・・濁音、半濁音、促音、拗音などが苦手なので、単語の聞き取りや書き取りで学習。

中国人女性・・・日常会話や簡単な読み書きはできるが、複雑な会話や子どもの学校のプリントは難しいので、学校からのお便りを使い、自由会話で生活に必要な日本語を学ぶ。

中国人男性・・・来日5か月で日本語はほとんど出来ず、最終的に仕事につなげたいので、教科書を使った積み上げと、自由会話で日本語能力検定4級を目指す。

日本人女性・・・会話は全く問題ないが、読み書きは全くできないので、ひらがな・カタカナ・漢字を一つ一つ学習する。

フィリピン人・タイ女性

- ・来日間もなく、一から学習したいので、教科書を使って積み上げて学習する。
- ・会話はある程度出来るが、読み書きは苦手なので、ひらがな・カタカナを学習
- ・ひらがな・カタカナはできるが、漢字が出来ないので、小学校1年の漢字から積み上げて学習。
- ・介護の仕事で、用語や会話が難しく、介護用語を学習し、自由会話で会話力向上を目指す。
- ・会話はある程度出来るが、お便りが読めないなので、お便りを教材に生活に必要な漢字を学ぶ。

子どもクラス:

日本語がわからないことで遅れがちな学校の授業についていけるように、算数と国語を中心に、宿題を含めて学校での学習をサポートする。算数については中国出身生徒は基礎は出来ているので、日本語が分からないために解けない文章問題を中心に学ぶ。フィリピン・エチオピア出身生徒については、母国での算数のカリキュラムが異なるので、足し算・引き算・九九などの基礎の計算問題の習得を目指す。国語は各人のレベルや学年に応じて、学校の国語の理解を目指す。

#### ④ 使用した教材・リソース

「みんなの日本語」、「新文化初級日本語」、「朝日小学生新聞」、子どもの学校のお便り、絵本、「多読ライブラリー」、学校の教科書、手作りの算数教材、算数ドリル、漢字ドリル、すごろくなど

#### ⑤ 受講者の募集方法

当センター会員・昨年度受講者へのチラシ送付、教育相談やたぶんかフリースクール生の親へのチラシ配布、エスニックコミュニティへのチラシ配布、荒川区の施設等でのチラシ配布

#### ⑥ 受講者の総数 33 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別 韓国 8、中国 7、フィリピン 9、エチオピア 2、ミャンマー1、タイ 1、日本 5 (うち中国出身 3・タイ出身 1))

#### ⑦ 開催時間数(回数) 88 時間 (全 44 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	人数	内容
1	4月3日 13:00～15:00	2時間	6人	大人:自己紹介 「保育園のお便り」「漢字(曜日)」「ひらがな・カタカナ」「自由会話」「身に着けるもの(履く・着る・かける・かぶる・つける)」
2	4月10日 13:00～15:00	2時間	11人	大人:「新文化初級日本語Ⅰ(て形)」「漢字(曜日)」「ひらがな・カタカナ」「自由会話(介護)・ひらがな」
3	4月17日 13:00～15:00	2時間	11人	大人:「漢字だいすき 第11課 67-74」「漢字(昨日など)4行作文」「ひらがな・カタカナ・漢字(ひらがなカルタ)」「会話(介護についての言葉)・数え方・書き」「漢字(数字・曜日)」「自由会話(子どもの学校のこと)」
4	4月24日 13:00～15:00	2時間	9人	大人:「新文化初級日本語Ⅰ(から、まで、で)」「漢字7つ・4行作文」「ひらがな(名前と住所)・簡単な漢字」「漢字(日本語初級)」「漢字・自由会話(自分について)」
5	5月8日 13:00～15:00	2時間	9人	大人:「新文化初級日本語Ⅰ(～ています)」「漢字5つ・4行作文」「ひらがな・単語の書き取り・絵本読解」「漢字・自由会話(自分について)」 子:「算数の教科書、ゲーム」
6	5月15日 13:00～15:00	2時間	12人	大人:「自由会話(子どものこと)」「漢字5つ・4行作文」「ひらがな・単語の書き取り・絵本読解」「お知らせの読み」「漢字・自由会話」「自由会話(子どもの学校のこと)」 子:「算数(掛け算・割り算)国語(教科書の読み)」
7	5月22日 13:00～15:00	2時間	18人	大人:「自由会話(仕事)」「自由会話(子どものこと)」「漢字5つ・4行作文」「ひらがな・絵本読解」「パンフレット(介護予防)」「漢字・漢字を使った作文」「みんなの日本語初級Ⅰ」「自由会話(子ども・家族について)・漢字・数え方」「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」 子:「日記、算数の問題集」「算数(液体の量を量る dl、l)国語(教科書の読み)」
8	5月29日 13:00～15:00	2時間	10人	大人:「漢字5つ・4行作文」「ひらがな・カタカナ」「パンフレット(介護予防)」「漢字」「みんなの日本語初級Ⅰ」
9	6月5日 13:00～15:00	2時間	13人	大人:「自由会話(仕事・子どものこと)」「漢字5つ・4行作文」「ひらがな・カタカナ」「日本語初級①～④」「会話(介護)、ひらがな」「漢字」「みんなの日本語初級Ⅰ」「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」 子:「算数(液体の量を量るデシリットル、リットル)、ゲーム(すごろく)」
10	6月12日 13:00～15:00	2時間	9人	大人:「自由会話(仕事・子どものこと)」「漢字5つ・4行作文」「会話(介護)」「パンフレット(介護予防)」「カタカナ・グリム童話」「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」 子:「算数(掛け算、割り算)、漢字ドリル」
11	6月19日 13:00～15:00	2時間	15人	大人:「音読練習・自由会話(子どものこと)」「ひらがな・カタカナ」「漢字5つ・4行作文」「日本語初級④～⑥」「会話、履歴書の書き方、カタカナ・漢字」「パンフレット(介護予防)」「漢字だいすき」「ひらがな・簡単な会話」「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」 子:「算数(大きい数の計算、図形)、読解(多読ライブラリー)」
12	6月26日 13:00～15:00	2時間	14人	大人:「漢字5つ・4行作文」「ひらがな・漢字(一～十、体の部分)」「パンフレット(介護予防)」「漢字・熟語・短文」「漢字だいすき」「自由会話(今日したこと)」「ひらがな、簡単な会話」「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」
13	7月3日 13:00～15:00	2時間	10人	大人:「ひらがな・数字」「日本語初級」「多読ライブラリー、パンフレット(介護予防)、漢字(名前・住所)」「ひらがな・カタカナ」「漢字だいすき」「自由会話(～から～まで、～したい、

				～しました)」「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」 子:「算数(距離 m,km)国語(教科書の読解)」
14	7月10日 13:00～15:00	2時間	12人	大人:「自由会話(母国の習慣)」「自由会話(子どもの学校のこと)」「漢字5つ・4行作文」 「数字・ひらがな・漢字14個」「読解(朝日小学生新聞、新型インフルエンザのプリント、漢字)」 「お便り(子ども手当、健康診断)」 「自由会話(～から、～より)」 「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」 子:「学校のプリント、子ども学習百科」「ひらがな」
15	7月17日 13:00～15:00	2時間	10人	大人:「漢字5つ」「ひらがな・数字」「日本語初級⑥読み・文法言い換え」「パンフレット、朝日中学生新聞」 「漢字だいすき」「自由会話(～や、過去形、疑問形)」 「ひらがな」
16	7月24日 13:00～15:00	2時間	7人	大人:「自由会話(子どものこと・携帯電話の手続き・学校のプリント)」 「ひらがな・漢字(1年)・絵本」 「ひらがなの読み書き」 「自由会話(～よりも、値段の聞き方)」 「ひらがな」 子:「算数(学校のドリル)、夏休みの宿題」 「ひらがな」
17	7月31日 13:00～15:00	2時間	10人	大人:「漢字5つ・4行作文」「ひらがな・漢字」「ひらがなの読み書き」 「自由会話(生活に関する言葉)」 「自由会話(子どものこと)・子どもの通知表の説明」 「ひらがな・濁音・破裂音」 子:「ひらがな」
18	8月7日 13:00～15:00	2時間	11人	大人:「自由会話(子どもの学習について・中華料理屋出店について)」 「漢字5つ・4行作文」 「漢字9個(1年)」 「書き取り(ひらがな・漢字)」 「読解(声に出して読みたい日本語)」 「自由会話、日にち・月の読み方」 「濁音の単語の聞き取り」 子:「国語(プリント)、算数(足し算)」 「ひらがな」
19	8月21日 13:00～15:00	2時間	7人	大人:「自由会話(人間関係についてなど)」 「ひらがな・漢字(1年)」 「読解(レベル別多読ライブラリー)・漢字」 「自由会話(一日の出来事)」 「自由会話(料理について)・学校のプリント」 子:「夏休みの宿題(読書感想文)」 「ひらがな・数字」
20	8月28日 13:00～15:00	2時間	9人	大人:「自由会話・学校のプリント」 「漢字5つ・4行作文」 「ひらがな・漢字(1年)」 「自由会話、手紙」 「自由会話(電話のかけかた、旅行の話)・学校のプリント」 子:「夏休みの宿題(読書感想文、漢字ドリル)」 「ひらがな・色の名前」
21	9月4日 13:00～15:00	2時間	7人	大人:「自由会話(中華料理屋出店について、メニューなど)・学校のプリント」 「ひらがな・漢字(1年)」 「漢字(7個)」 「自由会話(学校行事)・学校のプリント」 「濁音の発音の聞き取り・書き取り」 子:「読書(多読ライブラリー)、2年生の漢字復習」 「ひらがな・単語」
22	9月11日 13:00～15:00	2時間	5人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」 「みんなの日本語・文法(仮定)、4行作文」 「自由会話(病院での言い方)」 「漢字・4行作文」 「ひらがな・単語」
23	9月18日 13:00～15:00	2時間	3人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」 「みんなの日本語」 「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」 「濁音の発音の読み書き」 「食べ物の名前、あいうえおパズル」
24	9月25日 13:00～15:00	2時間	4人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」 「漢字5個」 「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」 子:「読書(多読ライブラリー)、3年生の漢字」 「ひらがな」
25	10月2日 13:00～15:00	2時間	3人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」 「日本語初級1-3課」 「濁音の発音の読み書き」 子:「ひらがな」
26	10月9日 13:00～15:00	2時間	4人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」 「自由会話(着る、かける、履くなど)」 「濁音の発音の読み書き」
27	10月16日	2時間	8人	大人:「ひらがな・漢字(1年)・童話」 「自由会話(“が”と“は”の使い分け)」 「自由会話(子ども

	13:00～15:00			ものこと・学校のプリント」「野菜・果物などの名前の書き取り」 子:「食べ物・店の名前、3年生の漢字、計算ドリル」「ひらがな・カタカナ・絵本・パズル」
28	10月23日 13:00～15:00	2時間	4人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」「濁音の発音の読み書き」 子:「食べ物の名前、3年生の漢字、国語(教科書)、計算ドリル」「ひらがな・カタカナ・野菜などものの名前・パズル」
29	11月6日 13:00～15:00	2時間	7人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」「自由会話・作文(一日の出来事)」「自由会話(子どものこと)・学校のプリント」「買い物内容の書き取り・日記」 子:「3年生の漢字、算数(文章問題)」「ひらがな・カタカナ・絵本・食べ物の名前」
30	11月13日 13:00～15:00	2時間	5人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」「買い物内容の書き取り・日記」 子:「ひらがな・キャンドルメッセージ」
31	11月20日 13:00～15:00	2時間	7人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」「日本語初級」「自由会話(茶道体験など)」「日用品の名前の確認・日記」 子:「3年生の漢字」「絵本の読み・すごろく」
32	11月27日 13:00～15:00	2時間	6人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」「自由会話・発表練習」 子:「3年生の漢字、算数」「すごろく、ゲーム」
33	12月4日 13:00～15:00	2時間	6人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」「自由会話・発表練習」「自由会話(医者の手紙の説明)」「日用品の名前・公共施設の名前の確認・日記」 子:「3年生の漢字、算数」「ひらがな・カタカナ・百ます計算」
34	12月11日 13:00～15:00	2時間	7人	大人:「自由会話(年末年始のこと)」「ひらがな・漢字(1年)」「自由会話」「自由会話(仕事の作業マニュアルの内容確認)」 子:「3年生の漢字、地図を作って家から多文化までの説明」「ひらがな・カタカナ・百ます計算」
35	12月18日 13:00～15:00	2時間	9人	クリスマス会 漢字ゲーム
36	1月8日 13:00～15:00	2時間	6人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」「日本語能力試験4級問題」 子:「算数、促音プリント」「冬休みの宿題、算数(3ケタの割り算、文章問題)、1文日記」
37	1月15日 13:00～15:00	2時間	5人	大人:「ひらがな・漢字(1年)」「日本語能力試験4級問題」 子:「地図の見かた、算数(重さを量る)」「百ます計算・算数(面積を求める問題)・漢字ドリル」
38	1月22日 13:00～15:00	2時間	5人	大人:「漢字5つ」「ひらがな・漢字(1年)」 子:「算数(ひっ算)、日記、ひらがなの復習」
39	1月29日 13:00～15:00	2時間	10人	大人:「漢字5つ」「ひらがな・漢字(2年)」「文型の作文」「子どもの学校のプリント・学力検査結果の説明」 子:「算数(100ます計算、かけ算、図形)」「漢字・算数(面積)」
40	2月5日 13:00～15:00	2時間	8人	大人:「習字(今年の抱負)・日本語多読ライブラリー読解」「ひらがな・漢字(2年)」「文型の作文」「自由会話(病院での会話)・学校のプリント」 子:「算数(重さを量る)、国語(学校のプリント)、しりとり」「漢字、足し算、社会(地図)」
41	2月12日 13:00～15:00	2時間	7人	大人:「ひらがな・漢字(2年)」「日本語能力試験4級問題(読解)」「自由会話(電話対応の仕方)・学校のプリント」 子:「100ます計算・百人一首のひらがなの読み」

42	2月19日 13:00～15:00	2時間	10人	大人:「日本語多読ライブラリー読解(音読・黙読)」「ひらがな・漢字(2年)」「日本語能力試験4級問題(読解)」「時間、月日の読み方」 子:「国語(宿題のプリント)、ひらがな・小学1年のたし算」 「算数ドリル(割り算、道のり、面積、少数)、漢字」
43	2月26日 13:00～15:00	2時間	8人	大人:「ひらがな・漢字(2年)・作文」 「読解(多読ライブラリー)」「自由会話(動詞の活用)」 子:「漢字ドリル、読書(多読ライブラリー)、すごろく、小学1年のたし算」「国語(4年の漢字)、ゲーム」
44	3月5日 13:00～15:00	2時間	9人	大人:「日本の社会について」「ひらがな・漢字(2年)」「読解(多読ライブラリー)」 「学校のお便り」 子:「算数(繰り上がりの足し算・文章問題)、漢字、半濁音など書き取り」「算数(3年生の文章問題)母語で意味の理解ができているか確認」「算数(3年生の文章問題、立方体・直方体・辺・面)母語で意味の理解ができているか確認」「国語、算数」「百マス計算、掛け算・割り算」

### ⑨ 特徴的な授業風景

5月22日 学習者18人

大人クラス

<個別学習>

- ・在日1世の女性グループは、漢字を5個(心・貝・月・大・母)を学習。その後、日々の生活について4行作文に取り組む。
- ・日本滞在歴の長い韓国人女性は、食べ物の名前を書き取り、濁音などを学ぶ。
- ・年配の韓国人女性は、本人が持参した区の介護予防パンフレットをボランティアと一緒に読み、認知症、骨粗鬆症、心筋梗塞、と難しい意味を一つ一つボランティアと確認しながら、意味が理解できると目を輝かせている。
- ・子育て中の中国人女性は、自由会話で、子どもが勉強についての心配ごとなどについて、分からないところは漢字を紙に書きながら話す。
- ・中国人女性は、自由会話で、子どものことや、夫の仕事や本人のアルバイトについて話す。
- ・読み書きのできない日本人学習者は、ひらがな・カタカナを一つずつ学習する。グリム童話を読む。
- ・タイ出身の女性は、漢字の読み書き(長・短・高・安・間・古・新)などの漢字を使い文章を書く練習をする。
- ・タイ人女性は、みんなの日本語初級I第7課で、借りる・貸すなどの文型を練習する。
- ・韓国人女性は、仕事のことや、家族のことを話しながら、ひらがなを学ぶ。
- ・フィリピン人女性たちは、介護で使用する日本語を学ぶ。

<交流会>

1時間半の学習の後、学習者同士や、学習者とボランティア同士が交流しながら日本語を学ぶ場としての交流会を実施している。この日は、漢字カルタを実施。

子どもクラス

- ・台湾出身の子どもは、学校の宿題の日記を書くために、ボランティアと話しながら書く内容をまとめていき、最後に自分で書く。休憩の後、算数の問題集を解く。
- ・中国出身の子どもは、算数「水のかさ」液体の量を測る。教科書を一緒に読み、意味を説明しながら、デシリットル(DL)という単位を教える。休憩後、国語の教科書をボランティアと一緒に音読。

・フィリピン出身の子どもは、この日初めて来たので、算数のレベルを把握するために、分数、小数点、整数の足し算、引き算、かけ算、割り算を一通りやってレベルをチェック。分数の概念がまだ分かっていないのと、九九が頭に入っていないために時間がかかり、間違いも多いので、これから百ます計算を毎回することになる。

大人クラスの学習風景



子どもクラスの学習風景



交流会の様子

日本語や中国語の早口言葉

ジェスチャーゲーム



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿



氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
張赫	中国語			通訳
李原翔	中国語	20年	2	通訳

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
王慧瑾	当センター代表	420時間日本語教師養成講座修了	毎回	本事業運営責任者
柴山智帆	当センター理事 (本務外)	ボランティア	毎回	親子全体担当
中野真紀子	当センターフリースクール講師(本務外) 子どもクラス主担当	420時間日本語教師養成講座修了、日本語教育能力試験合格	毎回	子どもクラス主担当
風間晃	当センター理事 (本務外)	日本語教育能力試験合格	毎回	親クラス主担当
加藤知子	主婦			親クラスボランティア
村田厚子	主婦			親クラスボランティア
多田佳明	会社員			親クラスボランティア
藤居啓二	元教員			親クラスボランティア
張赫	中国語通訳			中国語通訳
込山華代子	主婦			子どもクラスボランティア
会田				親クラスボランティア
佐藤均				親クラスボランティア
橘高				子どもクラスボランティア
荒木	元教員			
福田和久	当センター理事 (本務外)			交流会企画担当

## 4 事業に対する評価について

### ① 当初の学習目標の達成状況

ある程度継続した学習者にとっては、当初の学習目標が達成された。以下、2例をあげる。

- ・韓国出身のKさんは福祉施設の「調理場作業員募集」に応募し、合格した。合格後も、就労開始前まで、職場で渡された「調理場での衛生管理マニュアル」を使って、内容理解をサポートし、仕事につながった。
- ・中国出身のCさんは、学習開始当初に日本語を覚えて仕事をしたい、と言っていた。普段は日本人との接点がなく、日本語を話す機会もなく、教室に来るのが毎週楽しみで、2時間は短いと言っていた。当時は、アルバイトをたくさん掛け持ちしていたが、中華料理屋を開店することになった。メニューの読みなどをサポート。

### ② 学習者の習得状況

それぞれの学習ペースがあり、習得状況も個々によって異なるが、以下に事例をあげる。

- ・在日韓国人1世の学習者は、教室へ通学する以前は、文字を書くという習慣がなかったが、毎回5つずつの漢字を学習し、学習した漢字を使った文づくりや、4行での作文を行うことで、日々の出来事を短い文で表現できるようになった。
- ・韓国人女性のKさんは、在日期間は長く日常会話には不自由しなかったが、文字の読み書きが出来ず、韓国語母語話者の特徴でもある濁音、半濁音の聞き取りが出来ず、人前では恥ずかしくて文字が書けなかった。学習を初めて、日常生活の単語(食べ物など)を毎日書き取り、教室に持ってきてボランティアと確認する中で、牛乳を「きゅうにゅう」となっていたところを「ぎゅうにゅう」と書けるようになり、飛躍的に文字を覚えて自信がついた。その後、調理場作業員に採用された。
- ・中国出身の来日数カ月の小学4年生の男児は当初まったく日本語が出来ず、勉強にも集中できずに机に向かうことが出来なかった。現在では意思の疎通までほとんど問題なくできるようになった。また、勉強にむかう姿勢も改善され、教室では集中して学校の宿題にとりくんでいる。

### ③ 日本語教室設置運営の効果、成果

在日歴が長く、会話は問題がないが読み書きが苦手な人から、在日歴が浅かったり、日本人との接点がなく、普段は日本語を使う機会がないので会話も出来ない人など様々な背景の学習者がおり、出身地も韓国、中国、フィリピン、タイなど様々である。一人ひとりのニーズが異なる中、各人のニーズに合わせた学習スタイルで受け入れることが出来た。

外国人の労働環境は厳しく、たくさんのアルバイトを掛け持ったり、早朝や深夜まで、時に土曜日でも仕事があることも多く、仕事の都合で毎回来られない人が多い。そのような生活環境の中で日本語を学ぶには、一斉授業の連続10回というようなカリキュラムを作っても、実際には参加できなくなってしまう。一斉授業ではなく、基本的にはペアの学習で、毎週土曜日に開いていて、休んでも学習を再開でき、柔軟に、一人ひとりに合わせたサポートを行うことで、少しずつ日本語力を高めることができた。同時に、単に日本語を学ぶ場だけではなく、普段は日本人と話す機会のない学習者にとっては、学校のお便りを読みながら保護者会の制度を聞いたり、日本での生活の中で分からないこと、疑問に思うことなどを聞いたり、意見を言ったりできる場にもなっており、この親子日本語クラスが彼ら・彼女らにとっての「居場所」となっている。

### ④ 地域の関係者との連携による効果、成果等

当センターでは、広域のボランティアが多く、地域の外国人の状況を知るには地域との連携は不可欠で、荒川社会福祉協議会、荒川ボランティアセンターの協力を得て、地域のボランティアを集めたり、地域の小学生全員へ親子日本語クラスの案内を荒川ボランティアセンターの情報誌に掲載して頂いた。また、今年の夏にはサマーボランティアを受け入れ、元教員からの具体的なアドバイスを頂き、子どもクラスの授業運営に生かされた。

### ⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

- ・昨年増えた学習者が秋以降減少している。4 月以降はボランティアも増えると予想され、体制もつくれるので、大人、小学生ともに学習者を積極的に受け入れたい。
- ・大人の学習者は厳しい生活環境の中、学習者が継続できない方も多い。  
地域のボランティアが少なく、地域のことがわからないと子育て中の親へのサポートがしにくい。
- ・小学生への教え方には様々な工夫をしているものの、子どもたちの興味を引き付ける手作りの教材などが不足している。

b. 今後の課題

- ・学習者へのアウトリーチの方法
- ・継続できない学習者への対応
- ・地域ボランティアの募集
- ・小学生への教え方、教材づくり

c. 今後の活動予定, 展望

- ・荒川区教育委員会と連携し(可能であれば後援名義をもらう)、学校で日本語のサポートを受けている児童や、定められたサポートの時間数が終わってしまい、日本語の学習する場を求めている児童に教育委員会経由で伝えるとともに、各小学校、保育園へのチラシ配布。
- ・本当は日本語をもっときちんと学びたいが、目の前の生活に追われて学習を継続出来ない学習者に対して、休んでもいつでも学習を再開出来るように個人カルテを保管する。一度長期休むと、再び来にくくなるので、定期的にお便りを送付して、いつでも歓迎する姿勢を示す。
- ・荒川ボランティアセンターと引き続き連携し、定期的に募集を出すとともに、夏ボランティアなど体験的なボランティアも積極的に受け入れ、継続的に関わってくれるボランティアを発掘、育成する。同時に、直接日本語を教えるボランティアではなくても、地域の子ども会など地域リソースとつながる。
- ・子どもへの日本語、教科の教え方の勉強会の開催。元小学校の先生の協力を得る。

③その他参考資料

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。